

笑顔とがんばりの町

広報



おのまち



Public Relations ONOMACHI



たかむら踊り

小野町商工会

2016

9

おのまち夏まつり(8月15日)

おのまち夏まつり

No.643

大きな成果と 思い出を胸に帰国



今年で24回目を迎えたサマーキャンプ中学生の翼は、小野中学校2年生18人が参加し、10日間の日程で行われました。

一行は7月27日に小野町を出発し、成田空港からアメリカ合衆国ニューヨーク空港まで13時間のフライトを経てグレンロック町へ到着しました。さっそく歓迎会を開いていただき、ホストファミリーにあたたかく迎え入れられました。

ホームステイ期間中は、団員それぞれが家族の一員となって生活し、英会話だけでなくアメリカの文化や生活習慣などについて学びました。

またグレンロックの図書館や警察署、消防署、役場などの公共施設訪問、自由の女神、アメリカ最大の都市ニューヨークのフリーダムタワー、世界の交差点と呼ばれるタイムズスクエア、グラウンド・ゼロを見学しました。

研修後半のキャンプでは、キャンピングといわれる宿泊棟に宿泊し、さまざまな国の子どもたちと一緒に、カヌーでの川下り、水上スキー、乗馬、アーチェリー、タワー(壁登り)、トラピース(空中ブランコ)、バンジートランポリンなど、普段体験することのできない活動を体験しました。

団員たちは、ホストファミリーとの



10



11



6



12



8



13



9



7



14

1_自由の女神の前で/2_歓迎会/3_グレンロック図書館を訪問/4_警察署を訪問/5_消防署を訪問/6_グレンロック町の象徴で/7_タイムズスクエアで/8_グラウンドゼロで/9_スモア(焼きマシュマロのおやつ)に挑戦/10_グレンロックの町長を囲んで/11_キャンプ場で/12_アーチェリーに挑戦/13_ラクロス/14_タワー(壁登り)

生活やキャンプ体験を通して、アメリカの文化を肌で感じ、アメリカ人の心の広さや温かさ、優しさに感激しながら8月5日全員元気に帰町しました。団長、団員ならびに指導員による研修報告を掲載します。(次ページから)

2年1組 大和田 凜

私は、このサマーキャンプに向けて「少しでも上手な英会話を身につける」という目標を立てました。

でも、アメリカでの生活が始まると、ホストファミリーなどの英語を聞いて内容を理解したり、自分の考えを伝えたりすることが難しく大変で、「少しでも上手な英会話を身につける」という目標は達成することができませんでした。しかし言葉がしっかり伝わらなくても、ジェスチャーなどで伝えることができるということを知りました。

そして、このサマーキャンプでの体験は、楽しく素晴らしく最高の思い出になりました。たくさんの学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。



ホストファミリーと(右)



ホストファミリー姉妹と(右)

2年2組 大竹 楓

私の研修の目標は「ホストファミリーの方に自分の気持ちを積極的に伝えること」でした。初めはなかなか伝えられませんでした。慣れてくるうちにジェスチャーを交えて伝えられるようになりました。言葉が通じて会話ができたときはとてもうれしかったです。ホストファミリーの方々やキャンプ場の皆さんはとても優しくフレンドリーで、積極的に話しかけてきてくれました。おかげで、毎日笑顔で充実した日々を送れました。

今回の研修を受け、「言葉」より「伝えようとする気持ち」が大事だと気付きました。今後アメリカで学んだことを存分に生かし、自分の気持ちをしっかり伝えるようにしたいです。



ホストファミリーと(右)



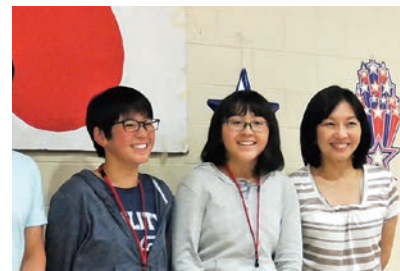
キャンプ場で乗馬体験

2年3組 今泉 綾霞

私は今回のサマーキャンプで初めて海外を経験しました。日本との違いが多く、戸惑うこともありましたが、日本以外の国の文化を知る機会となり、勉強になりました。

また、たくさんの楽しい思い出も作ることができました。ホームステイでは、日本では考えられないほど大きなハンバーガーを食べたり、キャンプでは初めて水上スキーをやって湖に落ちたり、この思い出以外にも思い出したら思わず笑ってしまうような思い出がたくさんできました。

10日間という長いようで短い期間の中、たくさんのことを学び、思い出をつくることができ、とても良かったです。



ホストファミリーと(左)



自由の女神の前で(左)

2年3組 志比奈 花野

今回の研修は、たくさんの「初めての体験」「思い出に残る体験」にあふれた研修でした。

私は「自分の英語力を試し、さらなるレベルアップを図る」という目標を立てました。ホストファミリーの方々は、翻訳できる機械を使ってくださったり、分かりやすく実際に見せて伝えてくださり、とてもうれしかったです。また伝えるときは、ジェスチャーなどを用いて伝えられました。

キャンプ場でも、一緒に活動する子どもたちやスタッフと話せましたが、理解できないこともたくさんあったので、もっともっと英語を学びたいと思いました。言葉だけではなく、工夫が大切だということも学びました。



自由の女神の前で(右)



キャンプ場で乗馬体験

2年3組 佐藤 寛

僕にとってこの研修は、アメリカの現実の姿を知り、普段自分ができないようなことが経験できた研修でした。僕が行ったグレンロックは、今までのアメリカのイメージとは異なり、緑が多く小野町のようにとても過ごしやすい所だと感じました。アメリカの主食はパンかシリアルなので、白米を恋しく感じる時がありました。現地の人との会話では、聴き取ることができても、話しかけることができなかったのが、英語の授業と英会話はまったく違うということを実感した研修でもありました。

僕は、中国に何度か行ったことがあります。アジアの国々とは大きく文化の違うアメリカで研修できたことをうれしく思います。



キャンプ場で乗馬体験



ホストファミリーと(右)

2年1組 齊藤 盛

今回のサマーキャンプでは、さまざまなプログラムを通じて、アメリカという国を知り、日本では見られない世界を知ることができました。

グレンロック町では、初めてのホームステイを体験しました。日本語がまったく通じない世界で不安はありましたが、自分のできる限りの英語と身振り手振りでなんとか語り合うことができました。

ニューヨーク見学やキャンプでもそうでしたが、英語ができなくても何とか伝えようとする気持ちが大切だと思いました。アメリカと日本の文化は違いますが、違いを見つけることで見えてくるものもあるのだと思いました。



ホストファミリーと(中央)



キャンプ場で水上スキー

2年2組 土屋 凜佳

私は、今回のサマーキャンプに参加するにあたって「コミュニケーション力を身に付ける」という目標を立てました。初めは、自分の言葉がアメリカの人に伝わるか心配でしたが、ホストファミリーの方が優しく話しかけてくれたおかげで自分から進んで話せるようになりました。また、そのおかげで、ホストファミリーの方と楽しい日々を過ごすことができ、積極性の大切さをあらためて実感しました。

今回のサマーキャンプは、自分にとってプラスになることがたくさんあり、新しい自分になることができたのではないかと思います。この夏の思い出を新たな出発地点とし、これからもどんどん成長していきたいと思っています。



キャンプ場で折り紙(左)



ホストファミリーと(左)

2年3組 先崎 大樹

僕は「アメリカの文化を知る、英語で積極的にコミュニケーションをとり自分の可能性を広げる」という目標を立てました。文化を知るという点については、ホームステイやキャンプステイで日本との生活スタイルの違いを学ぶことができました。英語で積極的に話すという点では、相手に自分の英語が本当に伝わるかどうかとても不安でしたが、アメリカの人たち皆さんがとても優しく温かく接してくれたおかげで、不安もなくなり、英語で堂々と話すことができました。伝えたいという気持ちがあれば、言葉の壁を越えて気持ちは伝わるということ学びました。アメリカで学んだすべてのことは、とても意味のあるものとなりました。



ホストファミリーと(左から3番目)



グレンロック警察署での体験

2年2組 鈴木 星

私は、アメリカへ研修に行くにあたって「現地の人と早く仲良くなり、自分のことは自分です」という目標を立てました。

この目標は、無事達成することができました。これはアメリカの人々の優しさとサマーキャンプと一緒にいった仲間たちのおかげだと考えています。

そして、アメリカに着き、一番最初に感じたことは「大きい」という言葉です。アメリカは国土が大きい分、建物も大きいということは、本当だと分かりました。

私は、この体験で、アメリカの広さや文化の違いにたくさん気付くことができたので、こんな貴重な体験ができたことを忘れないでいたいです。



ホストファミリーと(右)



キャンプ場で乗馬体験

2年1組 橋本 碧海

私は10日間アメリカへ行き、初めての体験などがたくさんありました。初めての外国、初めてのホームステイ、初めて外国の方に発した自分の英語というように、自分にとって初めてのことばかりでした。ホームステイの家族に自分のやらなくてはいけないことを伝えたり、答えたりすること、見学先でなるべく通訳してもらう前に理解するようにしたりしました。キャンプ場では、アメリカの自然に触れることができ、キャンプ場で過ごした3日間は、日本では経験できないような体験ができました。ほかにも日本にはない食糧があったり、靴で家に入るなど、日本ではない生活や文化の違いに触れられて、とても良い経験ができました。



ホストファミリーと(左から2番目)



キャンプ場で水上スキー

2年3組 根本 隼輔

「日本では常識のようなことでも、アメリカでは非常識になることがある」「周りがすべて英語を使っている」「日本にいれば分からなかつたらうなと感じる」、この研修で一番に感じたことは、視野の狭さです。自分がしていることに対しての固定概念を捨て、自分のこと以外にも注目をしなくてはいけないことがわかりました。また人の温かさとしさを感じることができました。アメリカの人々からは、だれにでもあるチャンスを生かすことのできる積極性も学びました。今の自分にでもできると感じたのは、気持ちの持ち方です。自分を高める気持ちの持ち方を身に付け、この研修の成果を生かしたいです。



ホストファミリーと(右から2番目)



グレンロック消防署での体験

2年2組 西牧 良弥

僕が今回の研修で立てた目標は、積極的にたくさんの人に話しかけることと、異文化交流をすることでした。できるだけたくさん会話して、たくさんの人と交流ができ、とても貴重な経験になりました。

グレンロックやキャンプ場の人は、とても優しく、少し不安だった英語も簡単な単語を使って話しかけてくださったので、僕でも聞き取ることができました。また、アメリカの人はとてもフレンドリーで、一緒にウノをやったり、トランポリンをやったりしてとても楽しく気軽に過ごすことができ、充実したアメリカでの生活になりました。

この経験を学校や普段の生活の中で生かしていきたいです。



ホストファミリーと(右から3番目)



キャンプ場でサバイバル体験(右)

2年3組 古川 翔亮

僕は、アメリカに行ってさまざまなことを体験したり学んだりしました。

1つ目は、ホストファミリーです。最初はとても不安でしたが、コミュニケーションを図っていくうちに、いつの間にか友達と話すときのような感じで話していました。ホストファミリーとたくさん会話したおかげで、英語力がアップしたと思います。

2つ目は、キャンプです。キャンプの行事は、経験したことのないものばかりでした。自分で選んだハイロープという活動が特に楽しかったです。

この事業に参加させてくれた家族と、4日間滞在させてくださった、ホストファミリーにとっても感謝しています。



ホストファミリーと(後列右から2番目)



グレンロック警察署での体験

2年1組 長谷川 健人

僕は、このサマーキャンプを通してたくさんのことを学び、感じました。

最初に感じたのは、アメリカの人々の優しさです。日本の人とは違った優しさで、気軽に話すことができました。英語が聞き取れなかったときには紙に書いてくれて、そういうところからとても優しさを感じました。

次に、日本との違いを学びました。アメリカのものはどれも大きくてとても驚きました。食事は、朝はパンやワッフルが主食で日本ではいつもご飯だったので最初は慣れませんでした。

アメリカでは、普段経験できないことをたくさん経験できたので、これからの生活に生かせるようにしていきたいです。



ホストファミリーと(左から2番目)



キャンプ場で水上スキー

2年3組 長谷川 杏樹

私は「文化の違いを学び、日本の良さも伝える」という目標を立てました。

ホストファミリーと和食レストランに行ったときに、箸はしの使い方を伝えることができました。またけん玉を使っての遊びなどで、コミュニケーションを取ることができました。私が教えているときは、ホストファミリーのみんなが聴いてくれて、食事のときは私に話しかけてくれました。本当の家族のように接してくれたコナー家の皆さんに心から感謝しています。

今回の研修を通じて、知らない人でも話せるアメリカ人の仲の良さと、アメリカ人の積極性を自分も見習いたいと思います。



歓迎会で(左)



キャンプ場のハイロープ

2年3組 吉田 乃愛

私の今回のサマーキャンプの目標の1つは、英会話の内容をきちんと理解することでした。それはキャンプ場で達成することができました。キャンプ場では、個人で行動する場面もあり、先生方がいない中、自分たちで現地の人たちと一緒に行動しました。すべて英語なので自分の話したことが通じたときはうれしかったです。

もう1つの大きな目標は、アメリカの文化を学ぶことです。それは、ホストファミリーと過ごしたときにたくさん学べました。私がお世話になったホストファミリーは日本の方だったので、日本語で分かりやすく詳しく教えてくださいました。とても楽しい10日間でした。



キャンプ場で折り紙(左から3番目)



ホストファミリーと(右から2番目)

2年1組 矢吹 おとめ

私は、この研修に行く前に「大きく成長して帰国する」という目標を立てました。この目標を達成するために、私は積極的にコミュニケーションを取り、日本ではなかなかできないことをたくさん体験することができました。お店に行ったとき、欲しい物を店員さんに伝える、物の使い方を聞き、使うことができるようになる、そして使い方を教えてくれた人と仲良くなれる、など日本では恥ずかしくてできなかったことを、アメリカでできるようになりました。

知らない人に話しかけられるようになり、友達もできました。これは、私がアメリカで遂げた大きな成長だと思います。これからも続けていきたいです。



歓迎会で(右)



キャンプ場でスケートボード

2年3組 村上 瑠音

今回の研修は、一生忘れることのないものとなりました。

まず、ホストファミリーとの生活では日本とは違った環境、食生活で、そこが文化の違いなのか…と思いました。言葉の発音も全然違っていて、聴き取るのが難しいと感じることもありましたが、しっかりと英語で会話できたというのは良かった点だと思います。

またキャンプ場では、人生初の体験をたくさんしました。しかし「何事にも挑戦する」という目標は、キャンプ中に途中で断念してしまった活動があり、達成できなかったことが反省点です。

今回の研修で学んだことを、日常生活中で生かしたいです。



グレンロック図書館で(左)



キャンプ場で折り紙(中央)

指導員(教育課)

渡邊 みき

7月27日、団員18人がそれぞれの期待と不安を持ちながら小野町を出発しました。

グレンロック町に到着した団員は、長旅の疲れも見せず歓迎会に参加し、積極的にホームステイの家族とコミュニケーションをとり、英語での会話に四苦八苦しながらも自ら話しかけ家族の中に溶け込んでいく姿も見られ、5日間のホームステイは短く感じたことと思います。

また後半のキャンプでは疲れを見せるどころか、モリモリ食事をとり、初めて挑戦する種目や苦手な種目にも積極的に挑みました。

大きなけがや病気も無く、団員のハツラツとした笑顔に安心した10日間でした。

今後はサマーキャンプでの体験を生かし、何事にも積極的に取り組んでほしいと思います。



ホストファミリーと(右から2番目)

団長(教育課長)

吉田 吉広

今年で24回目を迎える「サマーキャンプ中学生の翼」事業は、平成の初めに小野町で外国人英語指導助手をされていたクリスティン先生をはじめ、アメリカグレンロック町長、さらには賛同する皆さんのご尽力により、これまで続けていくことができました。

毎年ホームステイ先となるこのグレンロック町は、クリスティン先生の故郷であり人口約1万1千人と小野町とほぼ同様の人口規模で、ニューヨーク市内まで車で50分程の距離に位置する町であります。またグレンロック町から北西に3時間程の地にキャンプ場があります。

今年は中学2年生18人の団員と4人の引率者を合わせた22人のメンバーで、ホームステイやキャンプステイ研修を終えました。参加者全員が元気に多くの有形無形のおみやげを持って小野町

に帰れましたことは、引率者としてこの上ない喜びです。

「オリンピックで最も重要なことは、勝つことではなく参加することである。同様に、人生において最も重要なことは、勝つことではなく奮励努力することである。肝要なのは、勝利者になったということではなく健気に戦ったということである」という近代オリンピックの創立者クーベルタンのことばがありますが、団員が今回の研修で会得したものを糧に努力を重ね、さらなるステップアップが図れるよう期待しています。



グレンロック町長と(右)

指導員(小野中学校教諭)

遠藤 喬子

まずはじめに、第24回「サマーキャンプ中学生の翼」に指導員として同行させていただいたことに心から感謝します。

前半のホームステイでは、現地の方々の日常会話の速さに圧倒され、言語習得で最も大切なのは机に向かって学習することではなく、実際に使ってみることだと痛感しました。

後半のキャンプでは、その場に訪れているさまざまな国の子どもたちの英語力に圧倒され、私たち日本人の英語力、特に英会話力の

低さを身にしみて感じました。

今回、コミュニケーションは言語表現だけではないということを、やっと自分の肌で感じることができました。英語教諭としての今後の課題が見えました。



ホストファミリーと(右)

グレンロック町って どんなところ？



アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町は、町の面積が6.75km²(小野町の約18分の1)で人口は約11,000人の比較的小さな町です。

ニューヨーク市から35km離れた場所に位置するため、ニューヨーク市で仕事をする方々のベットタウン的な存在となっています。

町は小さいですが自然あふれる落ち着いた住宅街です。

また町にはいくつかの公園や樹木園があり、アウトドアを楽しむ住民で活気に満ち溢れています。

町の中央には、氷河によって運ばれてきたという巨大な岩があり、町のシンボルとなっています。



指導員(主任外国人英語指導助手)

モラン アレサンドロ

団員は多くの希望と期待、そして少しの不安を持ってアメリカへ旅立ちました。しかし不安はまったくの杞憂であり、グレンロックやヒルトップキャンプ場の人々は私たちをあたたかく迎え入れてくださり、団員も多くのコミュニケーションを取ろうという姿勢と努力で応え、これらは賞賛に値する素晴らしいものでした。

私は、この素晴らしい時間を過ごす団員の笑顔を忘れることはできません。この事業は不思議な事業です。これからは、団員はまったく違った視点で世界を視て、多くの国々を訪問する自信がついたことでしょう。

この思い出は、団員の人生を変えることができると信じています。



歓迎会で(右)



ホストファミリーと(左)

夏の風物詩

おのまち夏まつり開催

小野町商工会主催のおのまち夏まつりが8月15日、小野新町小学校校庭で開かれ、町内外から約10,000人が来場しました。

小野中学校吹奏楽部や小町夢太鼓による演奏、MANAMIさんのライブ、澤田姉妹の歌謡コンサートのほか、小野町観光大使で今回の夏まつりの司会を務めたkaho*さんとエソラビトさんのステージも行われ、会場を盛り上げていました。また子どもたちには「こまちレンジャーショー」やミ

ニSL、フワフワなどが人気を集め、会場を盛り上げていました。

夏まつり恒例の「たかむら踊り」では、たかむら音頭保存会の皆さんの太鼓に合わせ、色とりどりの浴衣や法被を身にまとった踊り手の皆さんが、大きな輪を作っていました。

夏まつりの最後には約300発の花火が大空一面に打ち上げられ、来場者を楽しませていました。



1_夏まつりの司会を務めたエソラビトさんのライブ/2_MANAMIさんのライブ/3_kaho*さんのライブ/4_子どもたちに大人気「こまちレンジャーショー」/5_フラダンスショー/6_小町夢太鼓の皆さんによる太鼓の演奏/7_たかむら踊り/8_夜空一面に打ち上げられた花火

福島県都市計画事業功労者表彰

矢吹雅孝さん(荒町)が受賞

福島県都市計画事業功労者表彰式が7月25日、白河市の鹿島ガーデンヴィラで行われ、矢吹雅孝さん(荒町)が受賞されました。

矢吹さんは、15年間小野町都市計画審議会委員を務められ、まちづくり事業に貢献してきたことが評価されました。

長年のご功績に対し紙上より厚くお礼申し上げます。



受賞された矢吹さん(右)

ダム周辺的环境美化

こまちダム周辺環境整備を実施

こまちダム周辺環境整備が8月21日に行われました。この環境整備は、菖蒲谷・雁股田行政区、夏井川漁業協同組合小野滝根支部、小野町建業会などの皆さんにより毎年行われているもので、当日は約100人の協力により草刈りやゴミ拾いが行われました。

環境美化へご協力をいただいた皆さんに対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



除草作業などを行う皆さん

日本赤十字社銀色有功章を授章

郡司芳美さん(飯豊上)に感謝状と記念品

このたび、郡司芳美さん(飯豊上)が日本赤十字社銀色有功章を授章されました。

銀色有功章は、献血回数70回を達成された方に対し、日本赤十字社から授与されるものです。

献血者が減少傾向にあるなか、永年にわたり献血にご協力いただき紙上より感謝申し上げます。



授章された郡司さん

小野インターチェンジをより美しく

こまちみどり愛護会が除草作業を実施

こまちみどり愛護会主催によるあぶくま高原道路小野インターチェンジ周辺の美化活動が7月30日に行われました。今回は6月に植栽したマリーゴールド・サルビアの花壇整備や除草作業、周辺のゴミ拾いが行われ、約50人の皆さんが作業に参加しました。

開会式では、小野町ライオンズクラブから「活動に役立ててほしい」とこまちみどり愛護会へ助成金が贈られました。ご協賛をいただいた小野町ライオンズクラブの皆さんに対し、紙上より厚くお礼申し上げます。

美化活動の行われたインターチェンジ周辺は、植栽された花苗が美しく伸び伸びと成長し、小野町を訪れる方々を出迎えています。



除草作業などを行う皆さん

新たに東日本リースキン協同組合と協定を締結

「小野町高齢者等見守りネットワーク事業」協定締結式

「小野町高齢者等見守りネットワーク事業」協定締結式が8月8日に町長室で行われ、新たに東日本リースキン協同組合と協定を締結しました。

本事業は、平成25年度から町と民間事業者との間で協定を締結し、各事業者が業務の範囲で訪問する高齢者などの住居で、異変などに気付いた際に町へ連絡をいただくものです。

個人情報などには十分な配慮のもと事業を実施しています。



協定を締結した東日本リースキン協同組合の関係者の皆さん



協定を締結した関係者の皆さん

災害発生時に備えて

避難行動要支援者名簿情報提供に関する協定を締結

避難行動要支援者名簿情報に関する協定締結及び名簿交付式が7月28日、役場で行われました。

この名簿は災害対策基本法の改正により、地震や大雨で災害が発生したときに、自分で避難することが困難な方(介護が必要な高齢者や障がいをお持ちの方など)の避難の介助を行うため町が整備したもので、協

定を締結した行政区、民生委員、消防団、社会福祉協議会、消防署、警察署に提供され、避難の支援を行っていただきます。この協定では避難支援を実施するための体制整備や今回整備した名簿情報の管理などが定められています。

協定締結にあたり町長から「この名簿を活用した実効性のある避難支援、避難誘導をお願いします」とあいさつがありました。

この制度は、地域の支え合い(共助)によって少しでも災害時の被害を減らそうとするものですが、災害の状況によっては支援を受けられない場合があり、そのことで支援を行う方が責任を負うものではありません。支援を必要とされる方は、周囲の方とのコミュニケーションに心がけるなど、支援を受けやすい関係づくりにご協力をお願いします。

小野町チームが大活躍！

第31回B&Gスポーツ大会福島県大会



第31回 B & G スポーツ大会福島県大会が7月24日、塙町営体育館および塙町 B & G 海洋センターで開催されました。

小野町からは水泳スポーツ少年団と剣道スポーツ少年団が小野町 B & G 海洋センター代表として出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。また試合の中で、選手間の交流も深まり、実りある大会となりました。

小野町チームは、剣道の部で優勝し、水泳の部では第3位入賞となりました。



1_剣道の部で優勝を果たした剣道スポーツ少年団の皆さん
/ 2_水泳の部で第3位に輝いた水泳スポーツ少年団の皆さん

親子で練習に励む

平成28年度親子水泳教室

平成28年度親子水泳教室が8月1日から5日までの5日間、海洋センタープールで開催されました。教室には9組の親子19人が参加し、親子練習の後、親の部・子どもの部に分かれて、水泳の基礎を学びました。親の部では水泳の指導方法、子どもの部ではビート板キックやクロールの練習を中心に行い、全員が熱心に取り組んでいました。また最終日には成果発表を行い、練習の成果を披露しました。

今回の教室を通して、親子のふれあいだけでなく、より一層水泳に親しむきっかけになることを期待します。



練習に取り組む参加者の皆さん



町長らによるPR活動

田村地域産の夏秋野菜をPR

トップセールスによるPR活動

夏秋野菜の出荷のピークを前に田村地域の3市町とJA福島さくらによるトップセールスが8月4日、東京都で行われました。

町長やJA福島さくら組合長、たむら地区本部園芸部会長らが東京都の市場関係者と懇談し、今後の販売対策について話し合われました。市場関係者から、JAの合併により広範囲

となった利点を生かして、野菜のリレー栽培をするなど工夫してほしいと要望がありました。

同日、消費地でのPRのためスーパーマーケットの店頭で田村地域産のインゲンやピーマンを使った試食品の提供、パンフレットの配布などによるPRを行いました。



1_活動内容などを発表する家庭クラブの皆さん/
2_「ミネラルトマトうどん りこびんぴん」

小野高等学校 6次化商品発表会

ミネラルトマトうどん りこびんぴん



小野町産ミネラルトマトを使った6次化商品の発表会が8月1日、小野高等学校で行われました。

発表会では、平成26年度から同校家庭クラブでレシピの開発を行ってきた6次化商品のうち「ミネラルトマトうどん りこびんぴん」の商標登録が完了したこととあわせ、家庭クラブの活動内容などが発表されました。

今回、商標登録が完了した「ミネラルトマトうどん りこびんぴん」は、昨年度国連大学で開催された「チャレンジおいしいふくしまin東京」で最優秀賞を受賞した「We Love 小野町 元気爽快ミネラルトマトギュウっとリコピンぴん!!」のレシピを基に乾麺にしたものです。

また発表会当日は6次化商品の試食会も行われ、「ミネラルトマトうどん りこびんぴん」と「熊谷加子さんの一升漬ドレッシング」の2品が紹介されました。

親子で農業体験

ふくしまの恵みPR支援事業

首都圏の親子を対象にした「夏の親子農業体験ツアー」が7月30日・31日の2日間、町内で行われました。

このツアーは、福島県の風評被害の払拭と、小野町の自然や農業、農作物をPRするために開催され、今年度で3回目になります。

今年度は9組29人の参加者が小野町を訪れ、ミネラル野菜やブルーベリーの収穫、そば打ちなどを体験しました。夕食時には地元の農家の方々との交流会が開かれ、熱心に意見交換をしていました。

また2日目の昼食では地元の野菜をふんだんに

使ったピザやパスタなどが振る舞われ、町内産の野菜のおいしさを感じていただきました。

参加された方からは「収穫した野菜(トマト・枝豆)がとても甘くて驚きました」「自然とふれあえる良い機会でした」「収穫体験もそば打ちも子どもたちにとって貴重な思い出が作れました」などの声が寄せられました。

震災から5年以上経過しましたが、町は今後も県・町内産農作物を積極的にPRしていきます。

体験ツアー開催にあたり、ご協力いただいた皆さんに対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



ミネラル野菜の収穫



そば打ち体験



ブルーベリーの収穫

おやつ教室のご案内

今回は「おやつ教室」を紹介します。

この教室は、町の食生活改善推進員が中心となり、親子でおやつを手作りする経験を通じて、食を通し生きる力を育む食育の大切さや、適切な食習慣などの知識を高めることを目的に行っています。

地元の野菜などを使ったおやつや団子さしなどの日本の伝統行事に合わせたおやつ作りも行っていますのでお気軽にご参加ください。

□対象者：2歳頃から就学前までのお子さんとその保護者

□持ち物：エプロン、1家族100円

□場所：母子健康センター

※1月からは子育て支援課施設内で実施します。

□申し込み：子育て支援課

※食物アレルギーがある方は申し込み時にお知らせください。

※教室の日程は健康カレンダー、町のウェブサイトなどでご確認ください。

📞子育て支援課

☎72-2212



ママとホットケーキ作りに挑戦



夏休みの放課後児童クラブ

小野新町小学校で実施している放課後児童クラブの様子を紹介します。

小学校の夏休み期間中、子どもたちは朝7時30分から夕方まで児童クラブで友達と過ごすことで、活動の幅が広がり、普段は体験できない活動や楽しい体験をたくさん経験しました。

プール活動や文化の館で絵画に触れ模写体験を行うなど、児童クラブの施設から飛び出し活動しました。また地域の方々にご協力いただき、おやつ作りの体験を通した食育や、盆踊り練習を行い伝統文化に触れるなどさまざまな体験と生きた学習ができました。

また夏休み恒例の「夏祭り」では、1年生から4年生までが自分たちで考えながら、お化け屋敷や迷路、夜店ごっこなどを計画・準備し、思い切り楽しむ姿が見られました。

今年も元気に勉強や活動に取り組み、子どもたちの成長が見られた夏休みでした。

📞子育て支援課

☎72-2212





◎県立図書館と新聞社を見学

8月18日にこども図書館員講座の特別講座として福島県立図書館と福島民報社の見学を行いました。今回の講座は公民館主催「おやこ体験くらぶ」との合同事業で、計39人の親子が参加しました。県立図書館職員の見学を聞きながら館内を見学した後、福島民報社では新聞のできる過程を学びました。普段はできない体験を通し、親子で本や新聞について身近に感じる機会となりました。

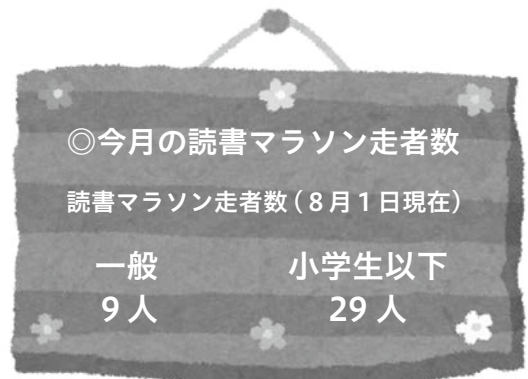


説明を受ける参加者の皆さん



◎こども美術館 名画に親しもう！
「体験講座名画を模写しよう」を実施

7月23日から8月21日まで「こども美術館名画に親しもう！」として有名な洋画の複製画の展示会を行いました。また8月17日には「体験講座名画を模写しよう」を実施しました。小学生らが参加し、思い思いに模写を楽しんでいました。



※折り返し地点通過(50冊読破)の方が増えてきました。



児童書

『さよなら、エルマおばあさん』

大塚 敦子／文・写真
小学館／刊



余命1年と宣告されたエルマおばあさんを飼う猫の目を通して追った写真絵本です。病を受け止め、延命せず命をまっとうしようとするおばあさんとそれを支える家族の姿がモノクロ写真で穏やかに映し出されています。命の尊さや家族との関わり、老いを受け止める様子が心に響く本です。(小学校中学年から)

一般書

『100歳が聞く100歳の話』

日野原重明／聞き手
実業之日本社／刊



104歳の医師、日野原重明氏と今も第一線で活躍中の100歳前後の芸術家5人との対談集です。対談からは芸術や生き方に信念を持ち、激動の時代を乗り越えた様子が伝わってきます。病や老いも制作の糧とし、何歳になっても前向きに進む姿勢が元気と勇気を与えてくれる一冊です。

◎ふるさと文化の館 行事カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	△5	6	7	8	9	10
11	△12	○13	14	15	16	17
18	19	△20	21	22	23	24
25	△26	27	28	29	△30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	△3	○4	5	6	7	8
9	10	△11	12	13	14	15
16	△17	18	19	20	21	22
23	△24	25	26	27	28	29
30	△31					

△…休館日 ○…ちびっこおはなし会

「ちびっこおはなし会」では、乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせや手遊びを行っています。

□時間：午前11時から午前11時20分まで

□場所：こどもの笑顔ひろば(ふるさと文化の館内)

ふるさと小野町会

ふれあい通信



原田 光子

はらだ・みつこ

- 南田原井出身
- 神奈川支部

「原橋」を思う

私の母はこの4月、満開の千本桜に見送られるように、98年の人生を終えました。花が大好きで、子どもたちと一緒に見たかったのだと思います。

昭和35年、私は15歳で就職が決まり、ふるさとに別れを告げる日、「原橋」から夏井川を眺めながら母と最後のひとときを過ごしました。母は何を思ったのか「社会に出たら嫌なことがたくさんある。そのようなときは、ここ原橋からすべて吐き出し、川に流して帰ってこい。少しは楽になるから」と言いました。

母は5人の子どもを育てる中でどれほどのことを夏井川に流してきたのだろうと思いつつながら原橋を後にし、上京しました。

「原橋」は、実家がある南田原井字大和久から夏井駅までの途中、夏井字原と南田原井の境にあり、言わば南田原井の入口のひとつです。当時は交通の便も良くなかったので、多くの人たちが夏井駅までの約2キロを歩いていました。原橋はその中間付近です。

就職のため上京し、しばらく川崎市にいましたが、その後、相模原市に住居を移して45年になります。当時は国鉄横浜線も単線で、大雨が降ると

電車が止まることが多々ありましたが、現在は便利になりました。近くには青山学院大学のキャンパスがあり、駅伝の選手が練習で走っている姿を見ることができ、選手たちの頑張っている姿に元気をもらっています。

母の葬儀に際して、たくさんの思い出がある「原橋」を思い起こした次第です。

昨年の相模原市の桜祭には、小野町からも出店していただきました。小野町会会員など大勢の方が心待ちにしており、私も何らかの手助けになればと思い参加しました。

☆☆☆小野わかば幼稚園☆☆☆

まのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険

◎「おのまちわかばたんけんたい」とは？

このたび、小野わかば幼稚園のお友達と一緒に小野町の素晴らしさや自然の豊かさを発見するために、探検隊を結成することになりました。その名も『おのまちわかばたんけんたい』です。月に1回、バスに乗って小野町を探検します。全身で小野町の素晴らしさを体感し、豊かな心を育みます。今回は第1回と2回の様子を報告します。
報告者：郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 柴田 卓

◎第1回 6月21日 天気：くもり 場所：緑とのふれあいの森公園

9時50分、おのまちわかばたんけんたいが、緑とのふれあいの森公園にやってきました。緊張気味な子どもいれば、気持ちが高ぶっている子もいました。はじめに「探検隊の心得」を確認。その1「自分のことは自分でやるべし」、その2「自分のからだは自分で守るべし！」です。

第1回は「スズメバチ」「マムシ」「ヤマカガシ」「ウルシ」の4種類の危険な生き物などを確認。次に「鳥の声」「クモの巣」など9種類を探す「たんけんビンゴ」です。今回のメイン活動で、軍手を着けて「たんけんビンゴスタート」の合図と同時に勢いよく山へ駆け登る子どもたち。全身と五感をフル活用して探しました。大変なのは丸をつける係の先生たち。あっちで呼ばれ、こっちで呼ばれ。そうこうしている間に2つ、3つと丸が増えていきます。

次にカエルを探していた子どもが池の周辺に集まってきました。「ポチャ」一人、また一人と靴とズボンが濡れていきます。また「カエルに食べられちゃうところだった」と言った子もいました。なんて素敵な表現でしょう。まさに「子どもの世界」です。森は子どもたちの豊かな感性が思う存分に発揮される場所ですね。



◎第2回 7月12日 天気：晴れ 場所：夏井川河川敷

第2回は、夏井川の河川敷へ行きました。はじめに、ゆり組さんが考えた「探検隊の心得」その3を発表。「おもいやりたのむべし」という素敵な心得に決定。その後、前後半に分かれ、陸での生き物探索とライフジャケットを着てのプチ沢登りに分かれました。生き物探索組は、人工物を発見する遊びの後、自由に探索スタート。はじめは恐る恐る生き物に触っていましたが、慣れてきたころにはカタツムリ、カエル、トンボ、ナナフシ、チョウチョとたくさんの生き物に遭遇しました。プチ沢登り組は、100メートルほど上流に向かって歩き、はじめての川と流れに必死な様子。目的地に到着すると、大冒険を終え、自信に満ちた表情に変わり、たくましく成長しているように見えました。



福島県の協力隊による合同説明会・「ふふふカフェ」



古崎です。
小野町でできた人の
繋がりについて説明
しました。



来場者と隊員たちの対話の様子。

皆さん、こんにちは。7月は東京都千代田区有楽町で開かれた「福島県の地域おこし協力隊 & 復興支援員を募集する交流会」に参加しました。

今回は来場者が現役の隊員と話し、どんな仕事であるのか知ることがメインテーマとされていました。説明や募集だけでなく、来場者が主体となって気になることを質問するなど対話する時間もあり理解が深められたように思いま

す。また会場は明るく少しリラックスした雰囲気の中で来場者と顔を合わせて話げできました。

実はこの交流会は2回目で、「ふふふカフェ」という名称でシリーズになっています。初回は今年の3月に開催され、その際に私は約30人の来場者を前に田村市復興応援隊の方とトークセッションを行いました。そして9月16日には第3回が企画されています。多くの方にこの交流会を知ってもらい、首都圏在住の福島県に縁がある方にも来場していただきたいです。

❖行事カレンダー information

■親子の教室

月	日	行事	時間	場所
9	29(木)	親子ふれあい教室 (おやつ教室合同)	受付 10:00~10:15	母子健康センター
10	6(木)	親子ふれあい教室 (ベビーマッサージ 教室合同)	受付 10:00~10:15	
	14(金)	すくすく発達教室	予約制	

■乳幼児健診

月	日	行事	時間	場所
9	21(水)	3~4カ月児・ 9~10カ月児健診	受付 13:00~13:20	母子健康センター

■その他の行事

月	日	行事	時間	場所
9	19(月)	第54回小野町敬老会	10:00~12:20	多目的研修集会施設

■健康づくり

月	日	行事	時間	場所
9	23(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30~15:30	母子健康センター
	27(火)	精神保健デイケア	予約制 10:00~14:00	多目的研修集会施設
	29(木)	夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00~20:30	町民体育館
	30(金)	こころの相談室	予約制 14:00~16:00	母子健康センター
10	3(月)	健康相談日	9:00~12:00	
	6(木)	夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00~20:30	町民体育館
	7(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30~15:30	母子健康センター
	13(木)	健康栄養教室	受付 9:30~9:45	勤労青少年ホーム
		夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00~20:30	町民体育館
14(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30~15:30	多目的研修集会施設	

夏季休業中も大活躍！

7月21日から8月24日の夏季休業中も、本校生は大忙しでした。

3年生は就職活動が本格化し、毎日のように学校へ通うだけでなく、会社見学などにも熱心に取り組みました。また校外の各種行事、大会へも数多く参加しました。生徒会は「ハイスクール世界サミットin福島」で、国内だけではなく、海外の高校生とも交流を深めました。家庭クラブは「全国高校家庭クラブ研究発表大会」や「うまいもん甲子園in仙台」、農業クラブは「全国高校生そば打ち選手権」や「農業クラブ技術検定」などで、日頃の活動の成果を発揮しました。各部活動も1年生大会などの大会に出場したり、他校との合同練成会に参加しました。そのほか、町内の保育園での保育体験学習や福祉施設で行うサマーショートボランティアなどの活動に参加した生徒も数多くいました。

県内外の生徒との交流や地域の皆さんとの触れ合いは、生徒たちの今後の高校生活だけではなく、人生の大きな糧になると思います。生徒の活躍の様子は、今後も紹介していきたいと思います。

中学生体験入学

中学生体験入学を7月26日に実施しました。今年度は体育館改修工事の都合上、午前と午後の2回に分けて行い、合計165人の中学生と引率の保護者、先生方が参加しました。

各回とも、前半は本校校長や生徒会役員、放送部制作のビデオなどによる学校紹介を全体会として行い、後半は各系列に分かれての体験授業と校舎や部活動などの見学という構成でした。体験授業では、普通教科だけではなく、総合学科という本校の特色を生かした農業、商業、福祉の授業も実施しました。

参加者の皆さん、ありがとうございました。進路決定の参考にお役立てください。



柏葉祭のご案内

今年度は、3年に1度行われる、小野高校文化祭「柏葉祭」の一般公開が実施されます。

生徒会や美術部のポスター原案の制作などを中心に夏休み前から少しずつ準備が始まり、各クラスや授業においても、展示発表の企画、練習が本格化してきました。下記の日程で行いますので、皆さんお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

- ◎日 時：10月23日◎午前10時から
- ◎会 場：福島県立小野高等学校
- ◎テーマ：「Dream～夢へと翔けろ」



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 72-3171 FAX 72-6211
http://www.ono-h.fks.ed.jp

国民年金コーナー

～生活を支える方が亡くなったとき遺族基礎年金が支給されます～

国民年金では、65歳から老齢基礎年金が支給されますが、不慮の事故などで生活を支える方が亡くなった場合には「遺族基礎年金」が支給され、国民の暮らしを守ってくれます。

■支給対象者

亡くなった方に生計を維持されていた「子のある配偶者」または「子」に支給されます。

※遺族年金という子とは、①18歳到達年度末(3月31日)までの子、②20歳未満で障害年金の障害等級1級または2級の子に限ります。

■受給要件

- ・老齢基礎年金を受給していた方が亡くなったとき
- ・被保険者または老齢基礎年金の受給資格期間を満たした方が亡くなったとき(保険料納付済期間(保険料免除期間含む)が保険料を納付しなければならない期間のうち3分の2以上あること)。

- ・死亡日に65歳未満で、死亡日のある月の前々月までの1年間に未納がないとき(平成38年3月までに死亡日がある場合)。

■年金額と子の加算額

遺族基礎年金は780,100円に子の加算額を加えた額が支給されます。子の加算額は1人につき224,500円(2人目まで)、3人目以降は1人につき74,800円です。

※子が受給する場合の加算額は、2人目以降に子の加算が行われ、前記の加算額を子の人数で除した額となります。

■厚生年金の加入者

遺族基礎年金は、厚生年金の加入者にも支給されます。受給要件などありますので、詳細はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

☎郡山年金事務所

☎024-932-3434

☎町民生活課

☎72-6933

■遺族基礎年金の支給額

受給者	子の人数	年金額(A)	子の加算額(B)	合計(A+B)
子のある配偶者	1人	78万100円	22万4,500円	100万4,600円
	2人		44万9,000円	122万9,100円
	3人		52万3,800円	130万3,900円
子	1人	78万100円	0円	78万100円
	2人		22万4,500円	100万4,600円
	3人		29万9,300円	107万9,400円

お知らせ information

お知らせ

毎年受けよう！特定健診

【特定健診】

現在国民健康保険の被保険者で、40歳以上75歳未満の方の特定健診は、医療機関で受診できます。対象者には、5月下旬に受診券（ピンク色）をお送りしました。年に1回の特定健診を受診して、自分の健康状態をチェックし、バランスの取れた食生活、適度な運動を心掛けて、健康の維持増進に努めましょう。

なお7月に実施した住民総合健診で特定健診を受診した方は、重複して医療機関で受診することはできません。

◆持参するもの

- ① 特定健康診査受診券
- ② 国民健康保険被保険者証
- ③ 自己負担金（1,000円）

◆実施医療機関（町内・順不同）：公立小野町地方総合病院／石塚医院／かみや内科クリニック／さいとう医院本院／島貫整形外科／橋本医院

※田村市・三春町の医療機関でも受診できますので、お問い合わせください。

◆実施期間：11月30日④まで

☎町民生活課

7216933

国民健康保険被保険者証の更新について

現在交付している「国民健康保険被保険者証（保険証）」は、有効期限が9月30日までとなっています。新しい保険証（ピンク色）は、9月末までに各世帯に簡易書留で郵送します。10月1日以降に診療を受ける際は、新しい保険証を医療機関

に提示してください。有効期限が切れた保険証は、10月1日以降に町民生活課まで返却してください。

保険証は、国民健康保険に加入していることを証明する大切なものです。汚したり、紛失したりしないようにならしてください。また勤務先の健康保険に加入したり、退職などで健康保険を脱退した場合は、手続きが必要ですのでお問い合わせください。

☎町民生活課

7216933

全国一斉！法務局休日相談所開設

法務局では、地域住民の方々から日常生活でのさまざまな心配ごと、困りごとの相談をお受けし、行政サービスの一層の向上を図ることを目的として「全国一斉！法務局休日相談所」を開設します。

相談は無料で、秘密は守られます。

◆日時：10月2日⑤・午前10時から午後4時まで

◆場所：郡山駅前「ビッグアイ」（7階市民交流プラザ）

◆内容：不動産・商業登記の手続き、土地の境界問題（筆界特定含む）、遺産相続、地代・家賃などの供託、戸籍・国籍の問題、夫婦・家庭内の問題、成年後見、公証に関すること、お年寄り・子どもの虐待、いじめ・体罰問題、セクシャル・ハラスメント、障がい者の差別問題、風評被害による人権問題など

◆担当者：法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、公証人、人権擁護委員

☎福島地方法務局郡山支局
024196214500

司法書士無料法律相談会開催

10月1日は「法の日」です。

これに合わせ、福島県司法書士会では、不動産の相

続・売買など登記に関することのほか、日常生活に関するさまざまな法律相談を無料で行います。

詳しくは福島県司法書士会までお問い合わせください。

◆日時：10月1日⑥・午後1時から4時まで

◆場所：船引公民館1階会議室（田村市船引町船引字南元町28番地）

◆相談員：福島県司法書士会員

☎福島県司法書士会

024153417502

秋の全国交通安全運動を実施します！

◆目的

秋になると、日没が急激に早くなるため、例年、夕暮れ時や夜間に、重大事故につながるおそれのある交通事故が全国的に多発します。

このような状況を改善するため、交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ル

◆「地域医療体験セミナー」開催

このたび、福島県立医科大学と連携し、地域医療を担う優秀な人材を育成することを目的に「地域医療体験セミナー」が開催され、15人の医学生が参加しました。

研修は2泊3日の行程で行われ、1日目は当院の施設見学、病院長の講話や病院スタッフとの交流会などを行いました。2日目は田村市の運動教室で地域住民との交流を図り、特別養護老人ホームまどか荘を視察し、都路診療所長の講話をいただきました。最終日は平田村の健康教室に参加し、血圧測定や健康相談を通して地域住民との交流を図りました。

参加した医学生からは「大学の講義では学べない貴重な体験ができ、地域医療に必要とされる医師について理解することができた」との感想が聞かれました。

このセミナーをきっかけに将来的には、地域医療を担う医師の定着につながることを期待しています。

●公立小野町地方総合病院

☎72-3181



◇町税等納期のご案内◇

納期限 国民健康保険税(3期)
9/30^金 介護保険料(3期)
後期高齢者医療保険料(2期)

ルの遵守と交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

◇期間：9月21日^水から9月30日^金まで

◇運動のスローガン
「身に付けよう 正しいルールと 反射材」

◇運動の基本：子どもと高齢者の交通事故防止

◇運動の重点
①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に反射材用品などの着用の推進および自転

車前照灯の点灯の徹底)
②後部座席を含めたすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
③飲酒運転の根絶

平成28年度農作物物品評会を実施します

毎年、小町ふれあいフェスタと同時に開催している農作物品評会を、今年度も実施します。

品質の良い食料を安定的に、かつ効率的に供給でき



る能率の高い農業が要求されている現在の現在、農作物品評会を実施することで、生産者の意識高揚と町内産の農作物の消費拡大を目的としています。

詳細については、後日、チラシの配布を行いますので、積極的な参加をお願いします。

緑とのふれあいの森公園 指定管理者募集!

「小野町日影南麓緑とのふれあいの森公園」は、平成11年に町民の健康増進と憩いの場、レクリエーションおよび都市との交流の場として整備され、多くの方々に利用されてきました。

平成29年度以降、指定管理者制度による管理・運営を行っていくため、公募に

より指定管理者の選定を行います。

公募内容の詳細については、産業振興課までお問い合わせください。

なお募集要項は町ウェブサイトでダウンロードできます。

●産業振興課
☎72-6938
町ウェブサイト
<http://www.town.ono.fukushima.jp>

◆休日当番医・院外薬局

月	日	当番医	電話番号	薬局	電話番号
9	18(日)	公立小野町地方総合病院(小野町)	72-3181		
	19(祝)	中央通りクリニックやない (田村市船引町)	81-2662	コスモ調剤薬局中央通り店 (田村市船引町)	81-1610
	22(祝)	三春病院(三春町)	62-3131	浜田薬局(三春町)	62-2202
	25(日)	大久保クリニック(田村市船引町)	82-2555		
10	2(日)	さいとう医院(小野町)	72-2500		
	9(日)	青山医院(田村市常葉町)	77-2015	タカギ薬局(田村市常葉町)	77-4381
	10(祝)	雷クリニック(三春町)	62-6333	きよはし薬局駅前店(三春町)	61-1101

※電話確認の上、受診してください。詳しくは「福島県総合医療情報システム」の「休日当番医検索」をご覧ください。
<http://www.ftmis.pref.fukushima.lg.jp/>

◆こども救急電話相談

受付時間：午後7時から翌朝午前8時まで(年中無休) ☎024-521-3790

詳しくは、「こどもの救急についてのウェブサイト」をご覧ください。

http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=27667

◆田村地方夜間診療所の当番医

【9月】

(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
		青山医院	矢吹医院		さいとう医院	
25日	26日	27日	28日	29日	30日	
	西山医院	石塚医院	春山医院	のざわ内科 クリニック	せんざき医院	

【10月】

(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
						1日
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
	船引クリニック	石塚医院	島貫整形外科	都路診療所	まっざき内科 胃腸科クリニック	
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
		大方病院	秋元医院	南東北 滝根診療所	橋本医院	

診療内容：内科、小児科疾患の一次救急です。
 受付時間：午後7時から午後9時30分まで
 ☎田村地方夜間診療所 ☎81-2233

❖お誕生おめでとう❖

氏名 父・母 行政区
 壁谷澤 凜花 (りんか) 寿典・律子 本町
 宗像 海利 (かいり) 聖郎・祐子 大八
 根本 涼穂 (すずほ) 善正・美保 吉野辺
 國分 快青 (かいせい) 基宏・小雪 小戸神
 (7月届出分)

❖おくやみ申し上げます❖

氏名 年齢 行政区
 吉村 智 83 皮籠石
 (6月届出分)
 若林 あい子 95 反町
 池田 正男 62 反町
 佐藤 文子 56 谷津作
 近内 行男 81 飯豊上
 宗像 キヨ 105 浮金
 佐藤 安治 63 浮金
 長久保 ミツ 91 浮金
 郡司 嘉彦 62 小戸神
 柏原 チヨ 85 小戸神
 吉田 兆家 92 夏井
 永山 徳三 84 夏井
 松本 アキ 98 湯沢
 (7月届出分)

※この欄は、届出の際に同意を得た方を記載しています。

上水道水質検査結果

7月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	9.0mg/l
有機物(TOC)	3mg/l以下	0.8mg/l
PH値	5.8~8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	1度未満
濁度	2度以下	0.1度未満

☎地域整備課 ☎72-6936

■町の人口・世帯数()内は前月比 平成28年8月1日現在

人口	男	5,045人(△11人)
	女	5,235人(△13人)
	計	10,280人(△24人)
世帯数		3,417世帯(△6世帯)

福島県現住人口調査結果から



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。



食品などの放射能測定結果

町で実施している簡易検査、ゲルマニウム半導体放射能測定器および非破壊式測定器による検査結果をお知らせします。

【簡易測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	3	キュウリ、タマネギ

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

【ゲルマニウム半導体放射能測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	20	水道水
	5	井戸水、引き水

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

【非破壊式測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	9	キャベツ、ハクサイ、タマネギ、オクラ、キュウリ、レタス、トマト、枝豆、梅

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

◎食品中の放射性物質(セシウム)の基準値

飲料水…10Bq/kg 牛乳・乳幼児食品…50Bq/kg

一般食品…100Bq/kg

※平成24年4月から新しい基準値が設定されました。

【検査を希望される方へのお願い】

①土やゴミなどの汚れをきれいに洗い流し、すぐに調理できる状態で持参してください。

②検体は1kgを持参してください。

※量が少なくと正確な数値が出ない場合があります。

☎健康福祉課 ☎72-6934

第16回町民大運動会



日時 / 10月9日(日)
午前8時30分から開会式
※午前中で終了予定
場所 / 町民体育館

※子どもから大人まで楽しめる競技や抽選会もあります。皆さん、ふるってご参加ください。